

古河電気工業とSFC
CC(本社)川崎市川

古河電工

メガソーラー向けに納入 らくらくアルミケーブル



県のメガソーラー発電所に高機能型アルミ導体CVケーブル「らくらくアルミケーブル」が採用されたと発表し

た。新製品の6600Vタイプを初納入。既存の600Vタイプと合わせて、発電所建設の延線工事で約20%の省力化を実現した。今後、太陽光をはじめとする再生可能エネルギー施設などでの採用拡大を狙う。

6600Vケーブルの延線作業

で採用され
陽光発電所
一・第二天
の阿久根第
鹿兒島県

間に100平方メートル、また集電箱から接続箱
ブルを447メートル納入。

た。高圧キュービクル間の配線向けに60平方メートルの6600Vケーブル

接続箱からPCS間には400平方メートルの600Vケーブルがそれぞれ2000メートル以上使われた。

らくらくアルミケーブルは銅導体ケーブルと比べ30〜50%軽量で使い勝手に優れ、延線作業の効率化や省力化により工期を短縮できる。施工した大鹿電業からは、「今回アルミケーブルの使用で省力化効果を狙い、実際に20%の削減効果があった。作業員の疲労もかなり軽減された」との評価を受けたという。